

1.ユニバーサル活動

◆ユニバーサル社会とは

年齢・性別・障がい・文化の違いにかかわらず、誰もが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会の事です。

◆ユニバーサル社会づくり推進地区

明石駅周辺地区は、ユニバーサル社会づくり推進地区として、平成18年10月に兵庫県から第1号の指定を受けました。(明石駅を中心に半径1kmの区域)



ひなたぼっこ商品シュシュの作成作業

ユニバーサルクイズラリー開催



ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会



聴覚障がい者としての筆談ツール

2.今後の活動内容

◆今後の取組みに向けた意見交換・研修・視察の実施

- * ネット加入事業所他への広報誌「ひなたぼっこ通信」開始
- * 2018年3月12日(月)「Good Job!センター」視察実施予定

◆地域の方との交流の機会づくり

- * 135Eネット地域ブロック各エリアにて検討

◆ユニバーサル啓発講演会

- 「介護福祉士をもつ理容師から学ぶ」
- ～ユニバーサルへの必要な目線、ちょっとした工夫～
- * 2018年3月3日(土) 10:00～12:00
- アスピア7階学習室704号室

◆明石ユニバーサル観光案内情報誌の発行

◆ユニバーサル情報のホームページ開設

- * 明石市内事業所へ作成依頼検討中

◆合理的配慮の提供を支援する 公的助成金の普及

等々



3.コアメンバーのご紹介



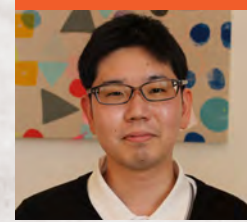
社会福祉法人三田谷治療教育院
明石市立おおぞら園・きらきら
施設長 飯塚 由美子

明石市が共生社会ホストタウンに登録された事を踏まえ「誰もが住みやすいやさしい社会」を目指して、まずは明石市の現状認識、そして暮らしやすい町の工夫のアイデアを豊富に持って、一歩ずつ前進していきたいと思っています。



社会福祉法人 明桜会
生活介護事業所すたじほぼっち
室本 早知

ユニバーサルってどういうことなのでしょう... 福祉に関わって以来よく使う言葉ですが、まだまだつかめずにいます。活動を通して皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



社会福祉法人 明桜会
明石市障害者就労生活支援センターあくど
北代 淳

誰もが住みやすい、ユニバーサルな明石を目指し、環境などのハード面だけでなく、個人の意識や考え方といったソフト面への取組みにも力を注ぎたいと思います。



認定NPO法人
地域支援事業所はれっと
理事長 川田 晋

障がいのある人やそうでない人、ご年輩や子どもたちも分け隔てされることなく笑って過ごせる素敵なまち。思うだけでなく形にします。一人で出来ることは小さくても、皆で取り組めばきっと大きなことにつながっていく。そんなことに関わっていきたいと思っています。



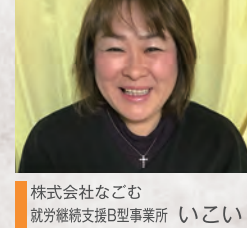
NPO法人
こぐまくらぶ
理事長 松本 将八

明石は良い街であり、良い仲間がたくさんいます。誰もが生活しやすい街や思いやりのある人になれるように、意義のある活動を行い、ユニバーサルデザインの価値を広めていきたいと思っています。



社会福祉法人三田谷治療教育院
明石市立おおぞら園・きらきら
主任 服部 記昌

今はそれほど不自由を感じませんが、私もいつかは高齢者となり、日常生活に不自由を感じ、心穏やかでなくなるかもしれません。やさしい町「明石」を目指して、自分が将来、住み続けたい町と思いつけられるように取り組んでいきます。



株式会社なごむ
就労継続支援B型事業所 いこい
植田 悦子

心の開放は人と人を繋げ愛を紡ぐ優しい糸になります。明石の優しい町づくりは今を生きる私達から発信します。誰もが住みやすい町！人が人を大好きになる町！「ユニバーサルデザインは困ったなあ!」「どうしたらいい?」「クエッションマークから始まる。



NPO法人
ソーシャルサポートセンターひょうご
理事長 青木 悠

明石というまちで、より多くの人にとって使い勝手のよい快適な環境とは何なのか。様々な状況を理解した上で自分の問題としても捉え考えていきたいと思っています。